

関西創生のための高速道路ネットワーク の早期整備に関する要望

～淀川左岸線延伸部・大阪湾岸道路西伸部～

平成28（2016）年11月

関西高速道路ネットワーク推進協議会

関西経済連合会
大阪商工会議所
神戸商工会議所
関西経済同友会
大阪府
兵庫県
大阪市
神戸市

淀川左岸線延伸部及び大阪湾岸道路西伸部は、関西圏の環状道路を構成し、国際拠点空港である関西国際空港、国際コンテナ戦略港湾である阪神港等の大阪湾ベイエリアの重要拠点と国土軸である新名神・名神高速を結ぶ、広域的なネットワークを形成する重要な路線です。

東京一極集中を是正し、関西圏が我が国の成長をけん引しつつ、地方創生を実現するためには、社会経済活動を支える広域的なネットワークを構築する必要があります。また、阪神高速神戸線が都市高速渋滞ランキングで全国ワースト1位になるなど大阪都心部や阪神間等で慢性的に発生している渋滞を解消し、生産性を向上させることによって、国際競争力の強化や大規模災害等に備えた強靱な国土づくりを今まで以上に推進する必要があります。

我が国の成長をけん引する三大都市圏においては、高速道路ネットワーク強化のための環状道路整備が強力に推進されており、首都圏、中部圏の環状道路は、既にほとんどの区間で事業化され、着実に整備が進められています。

一方、関西圏の環状道路は、大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）は新規事業着手されたものの、淀川左岸線延伸部は事業化の目途が立っておらず、関西圏全体の損失となっています。

両路線の整備により、これまで形成されてきた高速道路ネットワークが、関西三空港・阪神港と相互に有機的に連携することになります。このことは、さらなる物流生産性革命や観光の基幹産業化に寄与するだけでなく、先端医療や航空・宇宙等、今後成長が見込まれる次世代産業が多く立地する関西のポテンシャルを活かすことにもつながり、関西のインフラが持つストック効果を最大限に発揮させ、日本経済再生の一翼を担うことが可能になります。

引き続き、地元の理解や協力を得ながら、事業が円滑に進むよう、関西の経済界及び自治体の官民が一体となって取り組みますので、下記の事項について、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

1. 広域的なネットワークを形成する重要な路線であることから、両路線の早期整備を行うこと。
淀川左岸線延伸部：国直轄道路事業による平成29年度新規事業着手
大阪湾岸道路西伸部(六甲アイランド北～駒栄)：国直轄道路事業の予算確保
2. 両路線のさらなる早期整備に向け、有料道路事業を導入すること。
3. 有料道路事業の導入にあたっては、利用者負担にも十分配慮した上で、早期整備に向けた財源を確保するとともに、出資金の返還繰延や償還期間の延長等による利用者負担の軽減策についても取り組むこと。

平成28（2016）年11月22日

関西高速道路ネットワーク推進協議会

関西経済連合会会長	森	詳介
大阪商工会議所会頭	尾崎	裕
神戸商工会議所会頭	家次	恒
関西経済同友会代表幹事	蔭山	秀一
同	鈴木	博之
大阪府知事	松井	一郎
兵庫県知事	井戸	敏三
大阪市長	吉村	洋文
神戸市長	久元	喜造

関西圏の高速道路ネットワーク図



大阪湾岸道路西伸部

淀川左岸線延伸部

凡例

	開通済		国際戦略総合特区
	事業中		我が国の経済成長のエンジンとなる産業機能の集積拠点
	調査中		世界遺産

関西の高いポテンシャルを活かした『ストック効果の最大化』～大阪湾岸道路西伸部・淀川左岸線延伸部～

効果① 効率的な物流ネットワークの強化による生産性の向上 (物流効率化)

○新名神高速、第二京阪道路の国土軸周辺や関西国際空港、神戸空港及び阪神港を有する大阪湾ベイエリアでは、**大型物流施設が多数立地**

○**国土軸と大阪湾ベイエリアの直結による物流効率化で、さらなる企業投資を誘発**

△ 既存(H24以前)
▲ 既存(H24以降) → 大型物流施設
● 立地予定

進出が進むエリア
※協議中(湾岸部) ※協議中(湾岸部)

夕方の渋滞損失が全国の都市高速の1位

午前の渋滞損失が全国の都市高速の6位

主な大型物流施設 (H24年以降約11万㎡以上の立地)

順位	名称	完成済/計画(㎡)
1	日立物産流通センター	H27/3.0万
2	パナソニック流通センター	H27/2.0万
3	和和物流センター	H27/1.1万
4	ロジスティクスパーク	H26/13.3万
5	イトーヨーカドー	H26/14.9万
6	(仮称) 伊藤忠商事P	H28/13万
7	パナソニック大阪	H27/2.3万
8	SGリテール	H26/11.2万
9	(仮称) DPL大阪	H29/2.6万
10	パナソニック東3	H26/4.4万
11	GLP堺南	H27/11.1万
12	トヨタ物流六甲アイランドセンター	H24/2.2万
13	トヨタ 神戸国際物流センター	H28/3.6万
14	(仮称) HCS関西東部DC	H28/2.2万
15	上越 ポートランド総合物流センター	H24/7.0万
16	上越 ポートランド総合物流センター	H28/2.8万
17	三井物産 神戸物流センター	H27/1.3万
18	三井物産 神戸物流センター	H30/6.6万
19	パナソニック神戸	H26/3.2万
20	GLP神戸	H27/3.6万
21	パナソニック神戸2	H27/2.8万
22	パナソニック神戸3	H29/7.0万
23	伊藤忠商事 新神戸営業所	H27/1.3万
24	ロジスティクス三木	H28/2.7万
25	東洋物産 三木物流センター	H27/3.1万
26	パナソニック三木	H26/3.9万
27	パナソニック三木2	H33/26.6万
28	東洋物産 TB 関西	H26/2.9万
29	パナソニック三木3	H26/7.7万
30	東洋物産 兵庫営業所	H30/25万
31	パナソニック三木4	H29/18.7万
32	パナソニック三木5	H30/15.6万
33	(仮称) ロジスティクス三木	H29/11.6万
34	パナソニック三木6	H29/14.7万
35	パナソニック三木7	H28/4.3万
36	関西ゲートウェイ	H29/9.0万
37	GLP吹田	H29/16.4万
38	GLP吹田2	H30/11.9万
39	大阪湾物流センター	H28/1.9万
40	(仮称) ロボット流通	H29/11.6万
41	リドワード南港	H28/27.2万
42	リドワード南港2	H29/18.0万
43	日本生命保険 物流施設	H28/3.3万

西日本の産業と国際物流を支える阪神港

西日本 人口6,000万人 GDP234兆円
東日本 人口6,700万人 GDP285兆円

輸出入貿易額の推移 (阪神港)

年度	貿易総額 (兆円)
H17	13.5
H22	14.6
H27	17.2

直近5年間で約2.6兆円増加

輸出入貿易額の推移 (関西国際空港)

年度	貿易総額 (兆円)
H17	6.6
H22	7.0
H27	9.2

直近5年間で約2.2兆円増加

効果② 次世代産業による経済成長 (次世代産業)

○関西では、高い技術力を持つ企業により、高速道路沿線に今後成長が見込まれる、**先端医療、航空・宇宙、ロボット、水素エネルギー**など、**次世代産業の製造・研究開発拠点多く立地**

○両路線の整備による高速道路ネットワークの拡充は、**製造・研究開発拠点及び拠点と空港・港湾との連携強化による生産性の向上につながり、さらなる経済成長を強力に後押し**

先端医療

企業名	事業概要
① 神戸大学	理化学研究所 日本最先端のバイオメダイナミクス(3D H27 9月開校) 神戸大学 医療・健康の連携強化に向けた先端医療・創薬を加速
② 京都大学	京都大学 先端医療センター H27年度に導入の最先端診断装置を推進 京都大学 先端医療センター H27年度に導入の最先端診断装置を推進
③ 京都府	京都府 先端医療センター H27年度に導入の最先端診断装置を推進
④ 京都府	京都府 先端医療センター H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑤ 京セラ	京セラ 先端医療センター H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑥ 京セラ	京セラ 先端医療センター H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑦ 京セラ	京セラ 先端医療センター H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑧ 京セラ	京セラ 先端医療センター H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑨ 京セラ	京セラ 先端医療センター H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑩ 京セラ	京セラ 先端医療センター H27年度に導入の最先端診断装置を推進

航空・宇宙

企業名	事業概要
① 三菱重工	神戸造船所内H27年度に導入の最先端診断装置を推進
② 川崎重工	西神戸工場 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
③ 川崎重工	西神戸工場 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
④ 川崎重工	西神戸工場 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑤ 川崎重工	西神戸工場 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑥ 川崎重工	西神戸工場 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑦ 川崎重工	西神戸工場 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑧ 川崎重工	西神戸工場 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑨ 川崎重工	西神戸工場 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑩ 川崎重工	西神戸工場 H27年度に導入の最先端診断装置を推進

水素エネルギー・蓄電池

企業名	事業概要
① 岩谷産業	岩谷産業 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
② 岩谷産業	岩谷産業 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
③ 岩谷産業	岩谷産業 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
④ 岩谷産業	岩谷産業 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑤ 岩谷産業	岩谷産業 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑥ 岩谷産業	岩谷産業 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑦ 岩谷産業	岩谷産業 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑧ 岩谷産業	岩谷産業 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑨ 岩谷産業	岩谷産業 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑩ 岩谷産業	岩谷産業 H27年度に導入の最先端診断装置を推進

ロボット

企業名	事業概要
① 川崎重工	川崎重工 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
② 川崎重工	川崎重工 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
③ 川崎重工	川崎重工 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
④ 川崎重工	川崎重工 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑤ 川崎重工	川崎重工 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑥ 川崎重工	川崎重工 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑦ 川崎重工	川崎重工 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑧ 川崎重工	川崎重工 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑨ 川崎重工	川崎重工 H27年度に導入の最先端診断装置を推進
⑩ 川崎重工	川崎重工 H27年度に導入の最先端診断装置を推進

効果③ 観光都市の連携強化による経済活性化 (観光交流)

○**関西は、観光都市 京都や姫路域をはじめとする世界遺産など、豊富な観光資源を有する地域**であり、**ゲートウェイである関西国際空港や阪神港からの外国人観光客が増加**

○**ゲートウェイと観光拠点間の時間短縮・定時性の確保などで周遊エリアが拡大し、さらなるインバウンド消費の増加が期待**

所要時間が最大15分短縮 (大阪⇄京都)

所要時間が最大32分短縮 (姫路⇄大阪)

外国人観光客が大阪に利用した交通機関

交通機関	割合
バス	40%
タクシー	22%
その他	17%

外国人訪問者数の推移

年度	訪問者数 (万人)
H24	2812
H25	3637
H26	4138
H27	6950

3年間で2.5倍増加

関西におけるインバウンド消費の推移

年度	消費額 (億円)
H24	2812
H25	3637
H26	4138
H27	6950

3年間で2.5倍増加

外国人観光客の増減 (大阪)

年度	外国人観光客数 (万人)
H25	32
H26	43
H27	51
H28予	66

3年間で2.1倍増加

外国人観光客の増減 (神戸)

年度	外国人観光客数 (万人)
H25	32
H26	43
H27	51
H28予	66

3年間で2.1倍増加

効果④ 食輸出による地方創生 (食輸出)

○多彩な日本の食の魅力に海外の注目が集まる中、御売市場及び日本三大酒処に近く、急成長するアジア諸国に首都圏よりも近い「地の利」を持つ**関西国際空港及び阪神港は、「食輸出に強み」を保持**

○両路線の整備による高速道路ネットワークの拡充は、**空港・港湾と全国の生産地とのアクセス性を向上させ、食輸出のさらなる拡大で「地方創生」を後押しするとともに、「クールジャパン戦略」及び「日本経済の再生」にも大きく貢献**

果物の輸出額シェア(H27年)

輸出先	シェア
関西国際空港	7%
阪神港	23%
その他(東京港等)	70%

清酒の輸出額シェア(H27年)

輸出先	シェア
関西国際空港	1%
阪神港	42%
その他(東京港等)	57%

水産物の輸出額シェア(H27年)

輸出先	シェア
関西国際空港	1%
阪神港	42%
その他(東京港等)	57%

水産物の輸出額シェア(H27年)

輸出先	シェア
関西国際空港	1%
阪神港	42%
その他(東京港等)	57%

食輸出取扱額の推移 (関西国際空港)

年度	取扱額 (億円)
H24	68
H25	77
H26	87
H27	116

3年で1.7倍増加

神戸ビーフ輸出量の推移

年度	輸出量 (トン)
H24	11
H25	20
H26	43
H27	47

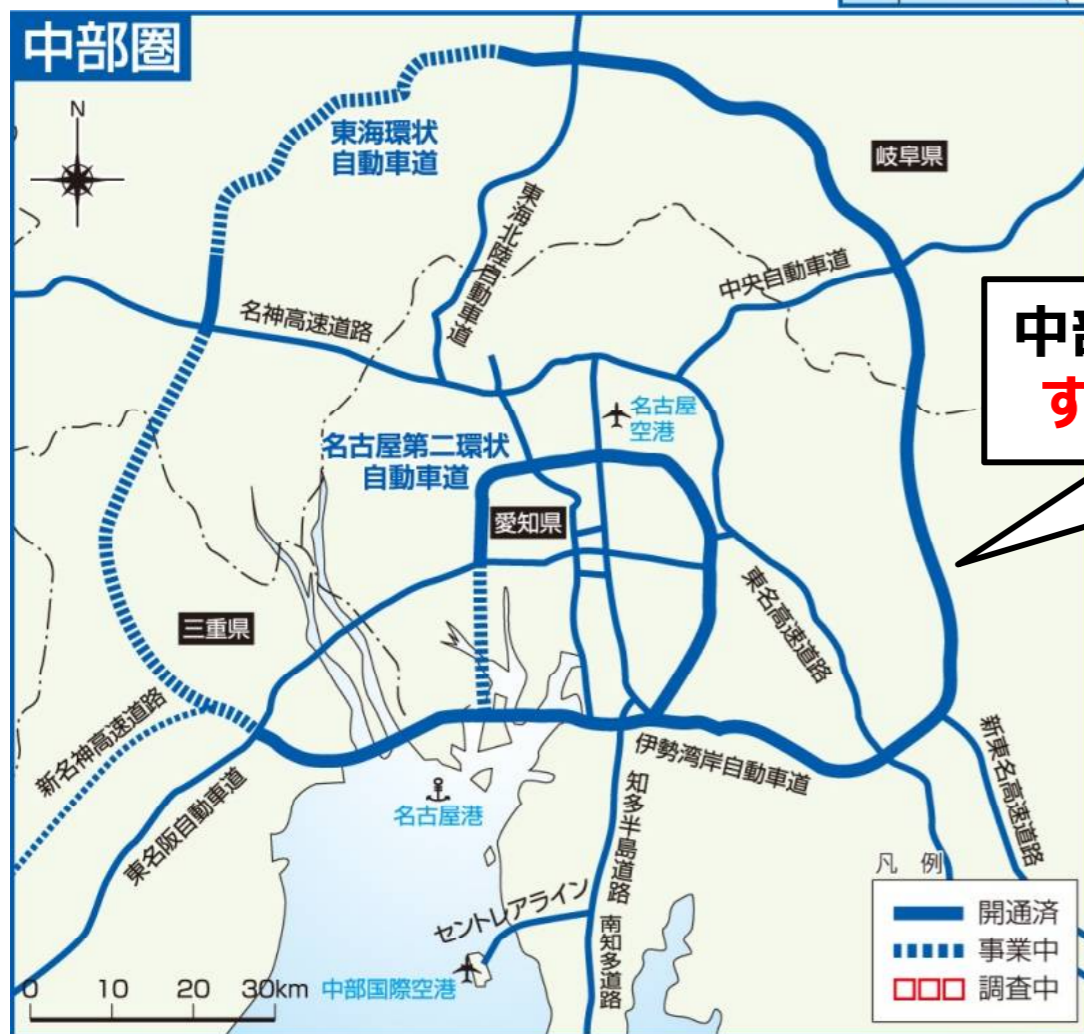
3年で4.1倍増加

(参考) 関西圏・首都圏・中部圏の環状道路ネットワークの整備状況



環状ネットワークの整備の目処が立っていない！

平成32(2020)年開催の東京オリンピック・パラリンピックまでにさらに整備が進む



中部圏の環状ネットワークはすべて事業着手されている

